

しろいしばる

白石原遺跡現地説明会

久保泉第2工業団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査



久保泉第2工業団地全景

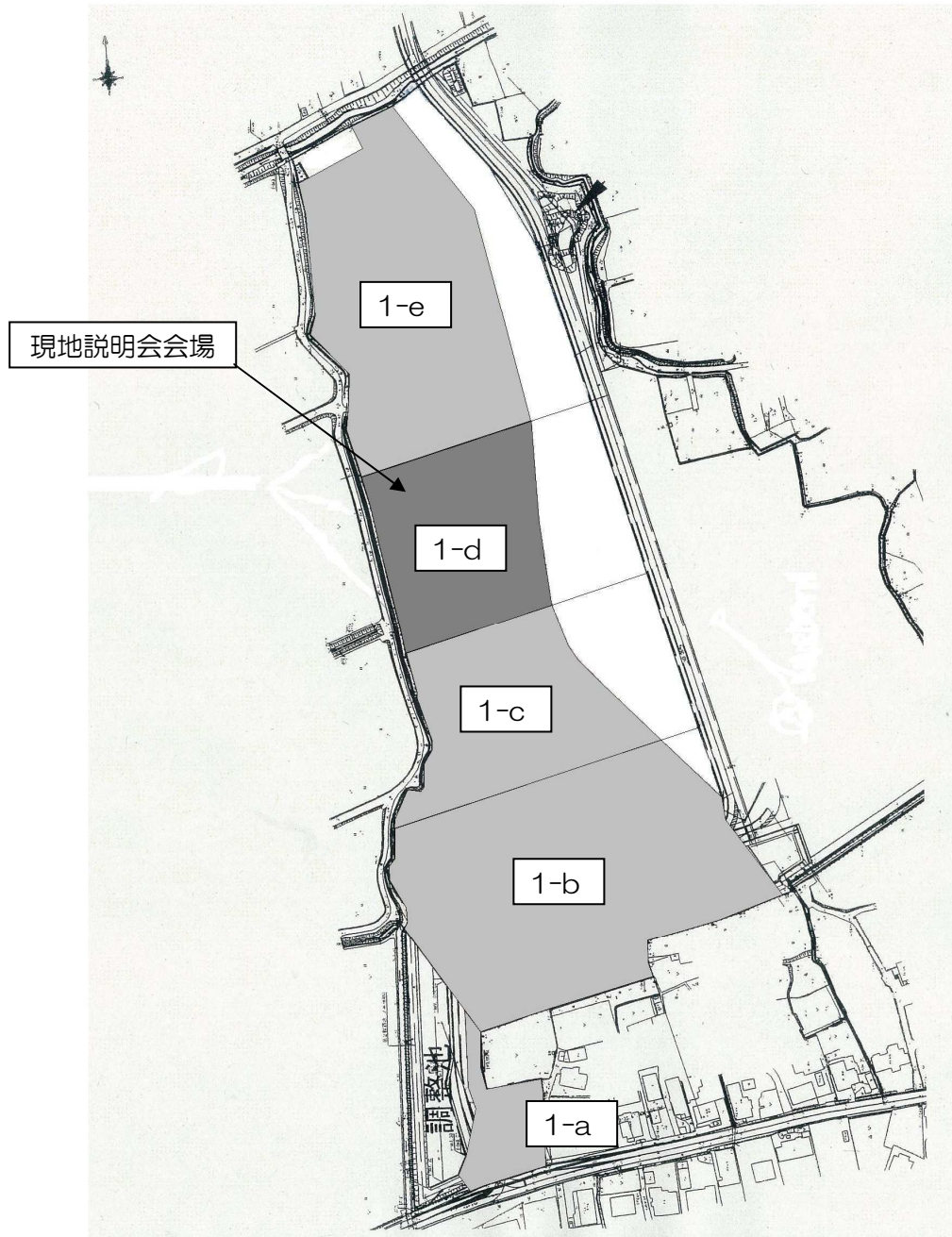
平成22年10月17日(日)

佐賀市教育委員会 文化振興課

【調査の経緯】

横尾コンクリート下和泉工場跡地に久保泉第2工業団地を造成することが計画されたため、平成 18 年度に佐賀市教育委員会が埋蔵文化財確認調査を行い、敷地内の西半分で約 40,000 m²に及び遺跡の広がり確認されています。

この発掘調査は、平成 20 年度から開始することとなりましたが、要調査面積が大きいため、工事計画に合わせ調査地区を 1-a から 1-e の 5 地区に分割し、南側の 1-a 区から順次北側に調査を進めて、現在 1-d 区の調査をほぼ終了したところです。



久保泉第2工業団地調査区設定図

【過去の調査成果】

◎白石原遺跡 1-a 区

- ・調査面積：1,907 m²
- ・調査期間：平成 20 年 4 月 21 日～平成 20 年 5 月 21 日

一番南側に位置する調査区です。コンクリート工場建設時の掘削などが激しく検出できた遺構は少なかったものの、平安時代（約 1,000 年前）のお墓や江戸時代後期（約 200 年前）の堀などを確認しています。

特に、平安時代のお墓からは、お供えに使用された土器と一緒に銅鏡^{どうきょう}を再加工したのではないかとされる銅板片^{どうばんぺん}も出土していて、当時のお墓の作り方などを知る上で非常に貴重な資料となりました。



白石原遺跡 1-a 区全景



平安時代の木棺墓

◎白石原遺跡 1-b 区

- ・調査面積：14,995 m²
- ・調査期間：平成 20 年 5 月 15 日～平成 21 年 11 月 25 日

1-a 区のすぐ北側に位置する調査区で、今回分割した調査区の中では最大面積^{ほこ}を誇ります。検出した遺構は、弥生時代後期（約 1,800 年前）から江戸時代後期（約 200 年前）までのものを確認していますが、中でも弥生時代後期（約 1,800 年前）と古墳時代後期（約 1,400 年前）の遺構は数・密度ともに非常に高く、当時の集落の中心部にあたるものと思われます。

弥生時代後期の遺構としては、^{たてあなじゅうきょ}竪穴住居・^{ほったてはしらだてもの}掘立柱建物・^{しゅうこうじょうういこう}周溝状遺構・^{いど}井戸・^{どこう}土坑などを確認してい



ます。中でもたてあなじゅうきよ・ほったてばしらだてものが数多く見付かっていて、数軒単位でまとまるたてあなじゅうきよの周囲に倉庫と思われる1間×1間あるいは1間×2間の小型のほったてばしらだてものが3~4棟ずつ建てられている様子が見て取れます。

古墳時代後期の遺構についても、弥生時代の遺構群と同様数多くのたてあなじゅうきよ・ほったてばしらだてもの・井戸・土坑などを確認することができましたが、この時期のものは同じ調査区の中でも主にたてあなじゅうきよが集中して作られる地点とほったてばしらだてものが集中して作られている地点があることが解りました。また、ほったてばしらだてものが集中して作られている地点で見付かった建物の中には倉庫とは考えにくい大型の建物や建物同士の間隔を合わせ計画的に建てられているものなども見受けられます。現時点では詳細な分析ができていないため、この違いが何を意味するのかははっきりしたことは解りませんが、同一集落内での身分差あるいは使用目的や性格の違いを表しているとするれば非常に興味深いものです。



白石原遺跡 1-b 区全景



白石原遺跡 1-b 区中央部南側全景



竪穴住居群



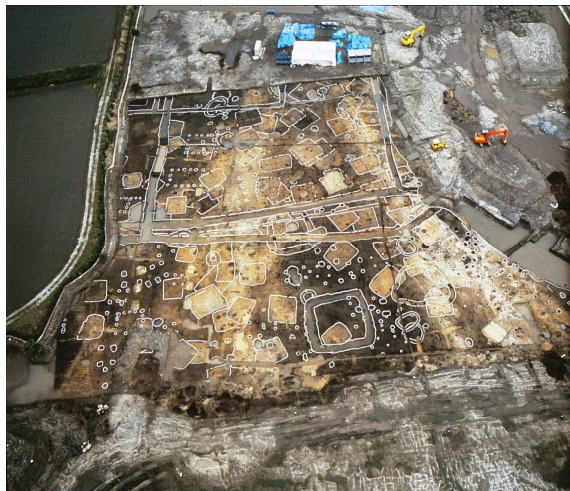
掘立柱建物群

◎白石原遺跡 1-c 区

- ・調査面積：6,312 m²
- ・調査期間：平成 21 年 10 月 28 日
～平成 22 年 7 月 9 日

1-b 区の北側に隣接した調査区で、1-b 区から連続した遺構の広がりを高密度に確認しています。また、新たに弥生時代後期の甕棺墓^{かめかんぼ}を 3 基（うち 1 基は今年 3 月に新聞報道を行った銅鏡片^{どうきょう}が出土した甕棺墓^{かめかんぼ}）、調査区南側で古墳時代前期（約 1,700 年前）の方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}（周囲を四角く溝で囲んだお墓）を 2 基、調査区北側で平安時代後期（約 900 年前）から中世前期（約 800 年前）および中世後期（約 500～700 年前）の屋敷地^{やしきち}を区画^{くかく}していた区画溝^{くかくみぞ} 3 条も確認することができました。

このことによって、白石原遺跡内で竪穴住居などの集落遺構の形成が一時的に途絶える古墳時代前期にはこの地域を有力者の墓域^{ぼいき}として使われていたことや平安時代後期から中世にかけてはこの地域に区画溝^{くかくみぞ}で囲まれた巨大な屋敷地^{やしきち}が現れることも解りました。



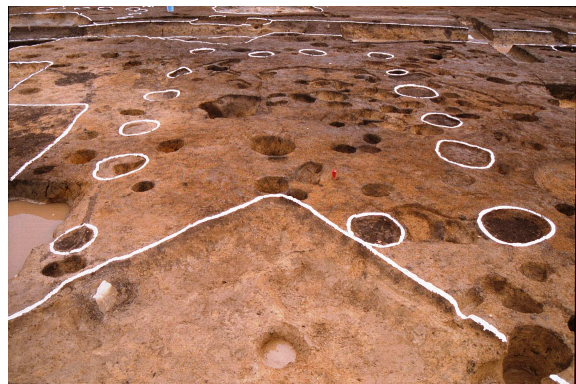
白石原遺跡 1-c 区全景



甕棺墓からの銅鏡片出土状況



弥生時代後期の竪穴住居



古墳時代後期の大型掘立柱建物

【今回の調査成果】

◎白石原遺跡 1-d 区

- ・調査面積：6,243 m²
- ・調査期間：平成 22 年 6 月 21 日～平成 22 年 10 月 22 日（予定）

1-c 区の北側に隣接した調査区にあたり、1-c 区からの連続した遺構の広がりが確認されています。検出した遺構は、弥生時代中期（約 2,000 年前）から江戸時代後期（約 200 年前）までの^{たてあなじゅうきょ} 竪穴住居・^{ほったてばしらたてもの} 掘立柱建物・^{しゅうこうじょういこう} 周溝状遺構・^{かめかんぼ} 甕棺墓・^い 井戸・^{どこう} 土坑・^{みぞ} 溝などで、調査区全体に比較的高密度に広がっていました。ただ、これまでの調査区で高密度に確認されていた弥生時代後期の遺構群はこの調査区の南側付近で急激に数が減っていくことが解り、この調査区あたりが弥生時代後期の集落の北端付近になるものと思われます。また、1-c 区で確認した^{しゅう} 3 条の^{くかくみぞ} 区画溝の^{ほくたん} 続きやそれに伴う^{ほくたん} 掘立柱建物・^い 井戸などをこの調査区で確認しており、当時の^{やしきちない} 屋敷地内での^{はいち} 建物や井戸などの^{くわんりよう} 配置・^{はいち} 空間利用の^{くわんりよう} 状況・^{はいち} 屋敷地の^{へんせん} 変遷などを知る上で非常に貴重な資料となりました。さらに、これまでの調査では確認されていなかった^{たてあなじゅうきょ} 弥生時代中期（約 2,000 年前）の^{どこう} 竪穴住居・^{どこう} 土坑といった遺構群の広がりが調査区北側を中心に新たに確認されていて、これから調査を行う北側の 1-e 区にその中心があるのではないかと期待されます。



白石原遺跡 1-d 区全景



古墳時代後期の竪穴住居



弥生時代中期の竪穴住居



弥生時代中期の廃棄土坑(ゴミ捨て穴)

【まとめ】

白石原遺跡の遺跡範囲は、その大部分が旧横尾コンクリート下和泉工場の敷地と重なっており、これまで本発掘調査を行ったこともなかったため、遺跡の内容は解らないままでした。



今回、久保泉第2工業団地造成に伴いその旧横尾コンクリート下和泉工場敷地内で遺跡の広がりが確認された40,000㎡全域を調査できたことによって、弥生時代中期(約2,000年前)から近世(約200年前)までの各時代の遺跡の様子を明らかにすることができました。

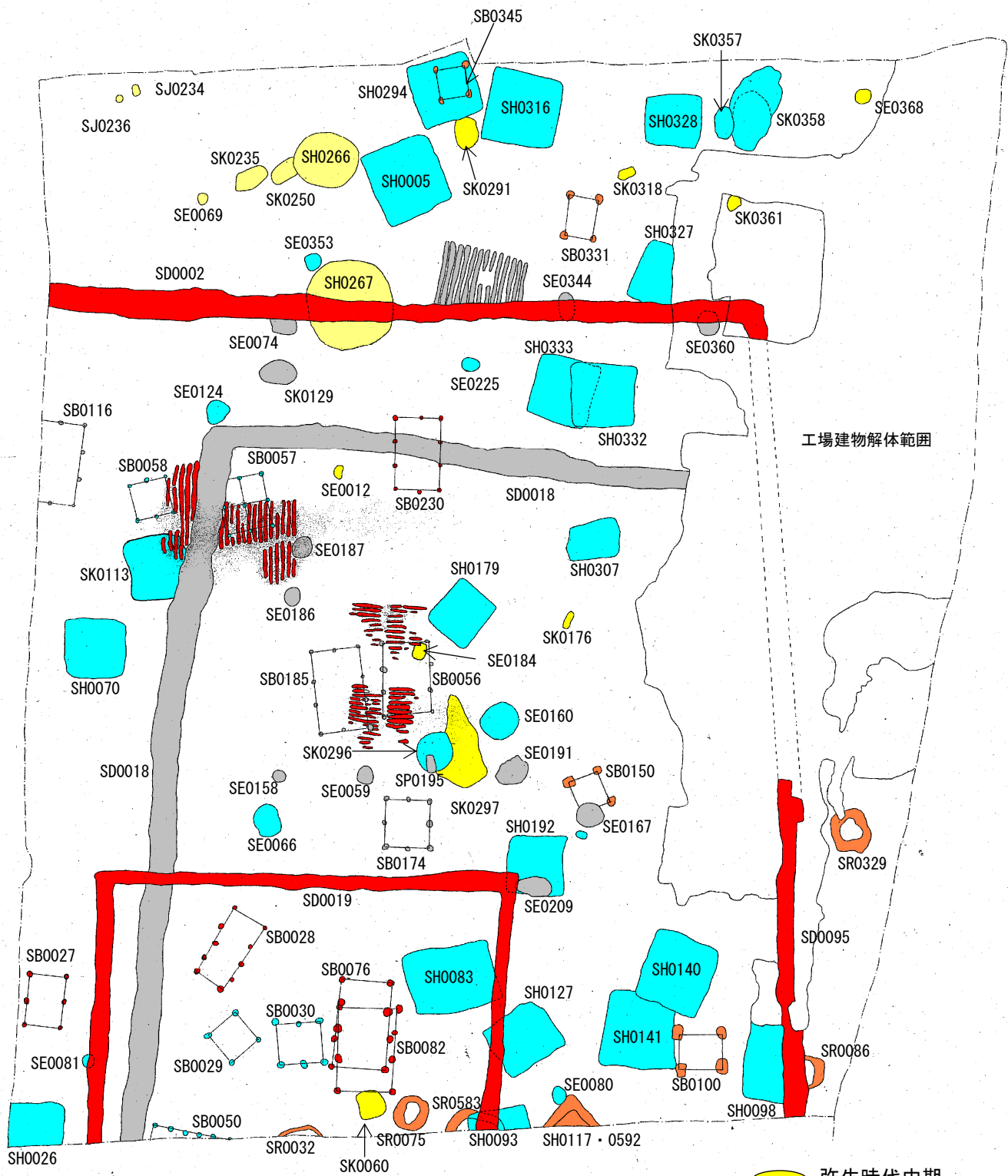
特に、弥生時代から古墳時代の集落は各時代における^{たてあなじゅうきよ}竪穴住居や^{ほったてはしらだてもの}掘立柱建物の形や作り方を明らかにできたことはもとより、各時期における集落の^{りっち}立地やその^{たてあなじゅうきよ}広がりに違いがあることも解りました。また、古墳時代のものでは同じ集落内でも場所によって^{ほったてはしらだてもの}竪穴住居が集中する部分と^{ほったてはしらだてもの}大型の掘立柱建物を中心とした掘立柱建物が集中する部分があることが解っており、この違いが何を意味しているのかも注目されます。

さらに、平安時代後期から中世にかけての溝で^{やしきち}囲まれた大規模な^{やしきち}屋敷地も確認しており、^{やしきち}屋敷地内での^{やしきち}建物や^{やしきち}井戸などの^{やしきち}配置や^{やしきち}空間利用の^{やしきち}状況・^{やしきち}屋敷地の^{やしきち}変遷など当時の^{やしきち}生活の様子を知るための^{やしきち}貴重な資料を得ることができました。

【年表】

西 暦	B.C.10000	B.C.300	A.D.1	300	600		1200		1600	1800	1900			
時 代	縄文時代		弥生時代		古墳時代		古代		中世		近世	近現代		
白石原遺跡			●——●		●——●		●——●——●		●——●		●——●			
周辺にある主な遺跡	東名遺跡(金立町)		赤井手遺跡(久保泉町)		下村遺跡(久保泉町) 村徳原遺跡(久保泉町) 琵琶原遺跡(久保泉町)		古村遺跡(金立町) 銚子塚(久保泉町)		屋形遺跡(久保泉町)		上徳永遺跡(久保泉町) 和泉遺跡(久保泉町)		本徳永遺跡(久保泉町)	

白石原遺跡 1-d 区主要遺構配置図



工場建物解体範囲

- SH: 竪穴住居
- SB: 掘立柱建物
- SJ: 甕棺墓
- SP: 土坑墓
- SR: 周溝状遺構
- SE: 井戸
- SD: 溝
- SK: 土坑

- 弥生時代中期
- 弥生時代後期
- 古墳時代後期
- 平安時代後期～中世前期
- 中世後期